

まちに影響を与えられることが、建築職として働くやりがい

建築課 細谷 夢津美 (建築技術 平成21年度採用)

小田原市役所を志望したきっかけ

高校時代、小田原駅周辺が幼い頃の記憶と比べてずいぶん色あせて見え、それはなぜなのか疑問に思ったことから、まちづくりや都市をつくっている仕組みに興味を持ちました。大学で都市計画やまちづくりを学ぶ中で、現場に一番近く主体的にまちに係れる場所で働きたいと考えるようになりました。

都市の基盤づくりやまちづくりの様々な要素に係る業務を先端で行っている、基礎自治体で働きたい。そう考えるきっかけとなった小田原市で働こう、と思い志望しました。



右から2人目が細谷さん

現在の仕事内容

入庁後2年間は、まちづくり景観課で屋外広告物の許可事務や、基準に適合していない屋外広告物の是正指導などを担当しました。景観を構成する重要な要素である屋外広告物を、景観計画と連動し地域に適した大きさや色彩等に規制、誘導していく業務です。

今年度からは、建築課で市有建築物の長期的な維持保全についての業務を担当しています。最小のコストで必要な公共建築物を維持していくための仕組みづくりをする業務です。また、建築職としてのスキルアップのため、同じく建築課の業務である営繕工事の一部も担当しています。



仕事のやりがい

少しずつではあってもまちに影響を与えられることが、建築職として働くやりがいだと感じています。建築職が配属される部署では、それぞれの視点から建築やまちに係ることができ、どの業務もどこかでまちにつながっています。私が担当した屋外広告物の業務でも、広告物を所有する方などのご理解をいただき良い広告物が増えることで、景観が少しずつ変わっていくことを実感できました。

専門職として誇りを持って働けるよう知識を身に付け、経験を積み、取り組むべき課題を自ら見つけ解決していける職員になりたいと思っています。



受験生の皆さんへのメッセージ

私は小学生の娘を持つワーキングマザーです。職場の先輩方の協力もあり、なんとか子育てとの両立をしています。現在、建築職の女性職員は私を含めて2人だけですが、女性にも働きやすい職場だと思います。

また、小田原市は海、山、川、史跡など多くの要素を持っていますので、様々な業務を経験するチャンスがあり、自治体職員としての視点を増やせることも魅力です。